

カルスト通信

も り

森林のたより

Karst
correspondence

2002
vol.5

カルスト森林組合

管内17ヶ所で地区座談会



美東町・赤郷地区（赤郷交流センター）

昨年に引き続き、平成13年10月2日の美東町赤郷地区を皮切りに同日及び3日に美東町で4ヶ所、10月10日に秋芳町で2ヶ所、10月12日に

組合員からの質問

組合員からの質問として、

- ①個人で造林や下刈りをしても補助の対象にならないのか。（個人施業は対象になるものとならないものがある。また従来のみなし受託は廃止。）
- ②最近イノシシ、シカ、サルによる被害が急増している。何かよい対策はないか。（絶対数が増えた。当面、行政の補助を受け、自衛するより他はない。）
- ③作業道の必要性は良く分かるが、要は個人の手出しがいくらかかるかだ。（具体的な数字となると設計してみないと分からない。）



秋芳町・共和、別府地区（中央公民館）

- ④間伐を薦められるが、金がかかる。個人負担なしとはならないのか。（山林は個人財産だから、すべて補助金でまかなうわけにはいかない。管内全域ではないが、現在では高額の補助金が出ている。）
- ⑤出資証券は発行しないのか。（出資証券でなければならぬということはない。他の組合も出資証券に代わるものとして出資証明書を出している。）以上のような質問と回答が各会場で見られた。



美祢市・厚保地区（厚保公民館）

組合の概況と方針



代表理事組合長
伯野眞知人

組合が平成10年2月に発足してから、早いもので丸4年経過しました。
組合員の皆様には格別のご理解とご協力を頂き感謝申し上げます。

組合のこれまでの概況、決算状況、主な施設と今後の重点推進項目は次のとおりです。

概況（H13・5・31現在）

地区内の民有林面積	55,126ha
組合員数	7,970人
出資金総額	159,480千円
執行体制 理事20名	監事 3名
常勤理事 組合長1名	常務 1名
職 員 28名	事務 19名
	技能 7名
	嘱託 2名

決算状況

事業期間	総売上額	当期余剰金	森林造成事業	
			組合員利用	請負
第1期（4ヶ月） H10.2.2～H10.5.31	170,267	8,181	33,139	118,368
第2期 H10.6.1～H11.5.31	524,730	26,357	125,772	395,069
第3期 H11.6.1～H12.5.31	497,371	19,786	101,916	385,325
第4期 H12.6.1～H13.5.31	508,096	16,765	139,833	389,219

単位:千円

●主な施設

1. **本所事務所の建設**に美秋林業良質柱材を使用。木造平屋建瓦葺276m²(81坪)。平成10年8月竣工。

2. **多目的倉庫の建設**。鉄骨平屋鋼板葺365m²(107坪)。平成12年12月竣工。

3. **林業機械の導入**。

平成11年3月
クレーン付大型トラック(6.2t)
グラップルソー(PC120)
ミニフォーク(PC30)

平成14年2月
クレーン付大型トラック(6t)
フォワーダ
ラジキャリー
ワインチ

以上の基盤整備ができましたので、今後は森林造成事業について、組合員の一層のご利用をお願いします。

●重点推進項目

1. 新植は広葉樹林等を含め**2段造林**の推進。
2. 水資源かん養に国が力を入れている**間伐**の推進。
3. 木材市況が低迷していますが、木材で収入を上げるにはまず道が不可欠です。そこで**作業道**の推進。

以上3点を組合の重点推進項目として推進して行きます。ご支援、ご協力の程お願いします。

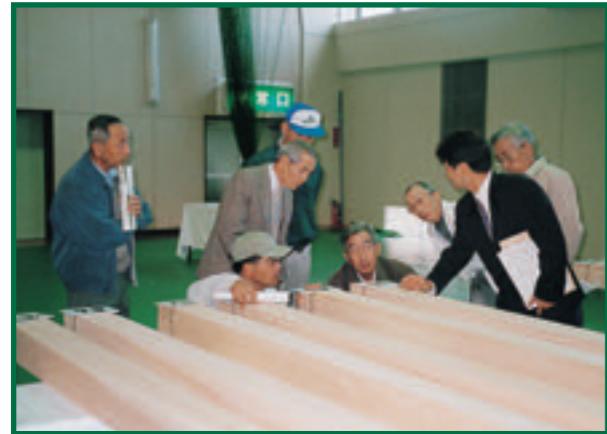


理事会

11月21日

美秋材等良質材品評会開催

美祢スポーツセンター



出品柱材の検討・分析

美祢農林事務所管内の2市4町からヒノキ柱材(3m×12cm角)83組166本の出品があり、1本あたりの平均見積り価格は8,004円。最優秀賞に輝いたのは美東町の青木郷亮さんで、2本1組の見積もり価格は41,000円。



地域材強度試験調査



適正な枝打ち○印



本年度最優秀賞 青木郷亮さん

下記は自宅の住所と電話。

〒754-0211
美祢郡美東町大字大田1117 ☎08396-2-0279



最優秀賞の柱材

目出度く最優秀賞に輝いた青木郷亮さんの柱材は、ヒノキ43年生で同氏が25歳の時、植林したもの。そのヒノキに33年前、ノコ、ナタによる枝打ちを行ったというから、まさに美秋林業のパイオニア的存在。当時は、枝打ちそのものが珍しく「林業山口」で広く紹介され評判を呼ぶ。だから出品された柱材のすばらしさは当然の帰結であって、何ら不思議なことではないということ。同氏の施業は大径優良材生産に重点を置き、間伐も強度で、しかも切り捨てだが、将来は持ち山に作業道を入れ、収入間伐も考えたいとか。夫人の美津子さんは、昭和63年度認定の女性指導林業士5人のうちの一人で、林業の知識と技術は抜群。これからもお互いに切磋琢磨して、山の経営に当たりたいと意欲十分である。



10.26 北海道風連町森林組合来訪

写真で見る 組合の歩み

平成13年9月～11月



9.20 第2回職員経理研修



11.7 ソーチェン目立て講習



10.2～11.26 地区座談会



9.26 安全教育（機械保守・管理）研修



11.15 森林組合協力事業体研修



10.11 公団造林用作業道の技術検討会



9.27 長崎県壱岐郡森林組合来訪



11.21 美秋材等良質材品評会



10.26 職員・協力事業体健康診断



9.28 経営診断打ち合わせ会

【林家訪問】…シリーズ③



美祢市豊田前町・山本望さん T10.11.10生

山本さんの所有山林に一歩足を踏み入れると、まず驚かされるのはどの山にも作業道が開設されていることだ。しかも古いものは20年前のものと聞き、さらに驚く。その頃、山に作業道という考えはきわめて斬新的だが、同氏にとっては「悲願であり、執念」の実現だったという。

とにかく、作業道にかけては余人の追従を許さない先駆者である。だが早くから作業道に取り組んだおかげで、山の作業も木材の搬出も容易になり、大いに助かったと述懐する。所有林13haのうち、人工林はスギ2ha、ヒノキ10ha。同氏の山林経営の基本理念は、大径優良材の生産にあるから、頻繁に間伐が繰り返されるが、枝打ちされた見事な山林を目前にすれば誰しも思わず、脱帽、敬服せざるを得ない。

なぜ人一倍、作業道や山林の手入れに対する思い入れが深いのか。それは同氏の山へ対する理想の姿と、長い間官行造林や市有林の仕事に携わった経験と無縁ではない。話は昭和27年まで遡る。働いていた山陽無煙炭鉱(㈱)の労働組合が長期ストライキに突入、仕事が出来なくなったことから当時の豊田前町が薪炭の仕事を斡旋。それが山の仕事の始まりだった。やがて責任者として伐跡の造林を任されるようになり、これから多くのものを学んだという。それは木を育てるための知識や技術であり、行き着くところ作業道であった。

しかし、自己の林業経営を振り返ってみれば、反省する点も少なくないといふ。土地に合わない樹種を無理に植えたばかりに失敗もした。美祢で炭鉱が全盛の頃、杭木が高価に取り引きされたことから、率先して、マツを植えたものの、成長は芳しくなく、どうにか大きくなつたと思ったとたん、マツ喰い虫で全滅というありさま。結局、投資した労力の見返りを手にするどころか、マイナスという痛手を被る。それを思い起こすと慚

ブヨ、蚊除けに最適!!



携帯防虫器
吊金、止金がしつかりしていて安心

特価 900円

パワー森林香
防虫効果が今まで
より一段と強化。

特価 1,200円



総代の皆様へ

平成13年6月1日付で総代に就任された皆様のお手許に、平成14年1月より「林業山口」と「林業新知識」の2誌が配達されます。これは当カルスト森林組合の林業普及活動の一環として、向う3年間無料でお届けするもので、現在の林業動向を知る上で大変役に立ちます。ぜひ参考資料としてご一読下さい。



ヒノキ林内に開設された排水整備のある作業道

組合人事異動

愧に堪えないが、何事も経験だと割り切った。昭和35年から美祢市有林看守人と官行造林監視人を委嘱され、平成13年3月に健康上の理由で辞職するまで境界の巡回、管理に携わること41年に及び、昭和60年には多年にわたる郷土の緑化推進に尽力した功績が認められ、県知事から栄えある県緑化功労章を授与される。

最後に本人の言葉。「時代の変化とともに、山への認識が遠ざかり、経済効果は以前ほど期待できなくなつたが、木は年輪を重ねれば重ねるほど価値をますもの」だから「木を育てるには、我流では駄目。知識ある先達の話をまず聞く。そして眞面目に取り組めば結果は自ずと木に表れ、山に表れる」まさに金言である。さらにまた「私の人生は山に捧げた一生だったが悔いはない。生きている限り、あるべき姿の山を追い求める」と。

山に関心を持ち、教えを乞うために山本さんの許を訪れる人は少なくない。林業相談にも気軽に応じていただける。自宅の住所と電話は下記のとおり。

〒750-0601

美祢市豊田前町麻生上79 ☎0837-57-0648

楠・山陽支所の受付時間、連絡先

月～金曜日

8:30～12:15 楠 支 所 ☎0836-67-2823
(楠町役場内)

13:00～17:15 山陽支 所 ☎0836-72-0865

松枯れ防止にショットワン・ツー注入剤



ショットワン・ツーを樹幹注入する



マツノマダラカミキリがマツノザイセンチュウの媒介者

春先は、大切な庭木のマツが松くい虫で枯れはしないか、大丈夫かと気になるシーズン。そこで松くい虫の被害から守るにはどうすれば良いか、どんな方法があるのか問い合わせが多くなる。組合ではショットワン・ツー薬剤の樹幹注入による防除をお薦めします。

ご連絡があり次第、見積りに伺いますので、遠慮なくご相談下さい。



松枯れ病を引き起こすマツノザイセンチュウ
長さ0.6～1mm位

薬剤名	ショットワン・ツー液剤(60ml)
有効期間	4年
使用時期	9月～翌3月
使用量	(例)樹高・10m、胸高直径・21～25cmの松1本 ショットワン・ツー液剤2本使用
費用	薬剤費及び作業費込み 10,000円

お問い合わせ
お申し込み 本所森林整備課・各支所まで TEL0837-52-3332

協力事業体紹介 今回は美東町・又野正二班をご紹介します。



枝打ち作業の手を暫く休めて

又野班の朝は早い。夏冬問わず朝7時には現場に到着し、作業にとりかかる。取材に訪れた初冬のある日、幾台もの枝打機の唸るような音が山々の静寂を破り谷間にこだまする。ベテラン班員の手によって傍目には面白いほど次々と枝が打ち落とされ、たちまち見事なヒノキ美林に生まれかわる。峻険で足場の不安定な山での枝打作業はひたすら根気と忍耐との鬭いだ。班員の面々から「山がきれいになると気分も爽やか。これもよっぽどの山好きでないと無理かもしれません」と答えが返って来る。

班長の又野さんが林業に従事するようになったきっかけは、父親が町林野委員と官行造林の監視人であったからという。昭和56年8人で又野班を結成。森林組合の仕事を始める。以後、班員の交替はあったものの、大体10人前後で推移し、現在は男8人、女4人の12人が構成メンバー。最も若い人は46才の女性。班を運営する上で悩みもある。刃物を使う仕事ゆえ危険度は高い。たえず、怪我が気になる。しかし、その反面、社会保険と厚生年金に加入して

表紙の写真

見事に枝打ち、間伐された40年生のヒノキ林。所有者の高橋博嗣さん（美祢市伊佐町堂下）は会社勤めのかたわら、寸暇を惜しんで山の手入れに専念。写真がその成果の表れである。また、本人は重機の免許取得者であることから、退職後、少しづつ自己山林内に林内作業車専用の作業道を開設。現在、人工林5ha内に開設された路線の総延長は3,000mに及ぶ。

編集後記

2002.vol.5(年2回発行)

カルスト森林組合も平成14年2月2日で満4年を迎えます。この間、平成11年・本所事務所、同13年・本所倉庫と相次いで竣工するなど、組合活動の拠点が整備され、一層の充実が図られました。シリーズ「林家訪問」は美祢市の山本望さん。「協力事業体紹介」は美東町の又野正二班の方々です。紙面についてご意見等があれば、ぜひお聞かせ下さい。お願いします。

いるので、班員の日々の出役率もよく、しかも、相互の信頼関係がしっかりとしているから嬉しくもあり、安心もしていられるということだ。

山の仕事をやっていて、又野班長が最も残念なことは、ひところに比べて木材価格が安いことだ。せっかく大事に育てたスギ、ヒノキを売却しても、手許に残るのはわずか。これでは若い人の山への関心が失われはしないか。

だが、又野班長は思う。山に木を植え、洪水を防ぐ治山治水の仕事は傍から見ると地味な仕事ではあるが、やはり国家の大切な事業であることには間違いない。だから、自分が林業を生業にしているとはいえ、これまで誰にも負けないよう山造りに励んできた。これからもその心積りだ。そこで長年、林業に携わり、それを生業として来たことに何よりまして生き甲斐を感じる。

又野班の特筆すべきことは、効率よく作業をすすめるため、12名の班員全員が刈払機を使用し、枝打ちカッターも導入している点だ。そして班長自身指導的立場から育林技術士A級の資格保持者で、級が違いこそすれ、他に4名の班員がいるが、班長は班全体の技術水準をさらに高めるため、全員に資格取得を薦めている。

「広域合併後、現場は美東町内に止まらないが、やれる限り、この仕事を続ける。とにかく人に喜ばれるいい仕事をしたい」と熱意のこもった又野班長の言葉で紹介を終わる。まず作業中の事故のないことを願い、班員全員の益々のご健闘をお祈りする。



枝打ち作業中の又野班長

組合員の皆様へ お願い

組合員の死亡または譲渡による名義、あるいは移転による住所の変更がありましたら、その都度、その旨を組合本所、各支所までお知らせ下さい。また、手続きなどで、不明な点がありましたら、ご遠慮なくお問い合わせ下さい。



カルスト森林組合

〒759-2212 山口県美祢市大嶺町東分418番1
TEL0837-52-3332 FAX0837-52-2587